

発言者	発言内容 (開会 午後1時33分)
	(当日入室時に資料の追加と差し替えあり)
課長	開会のあいさつ 佐野委員長、山田委員、宇野委員、中村委員、野田委員が欠席される。佐野委員長が欠席されたので、議長を舟橋副委員にお願いする。
部長	あいさつ
課長	資料確認
議長	議事進行を務める。
事務局	(1)大口町高齢者ほほえみ計画について(資料 No.1) 資料 No.1 介護保険料比較表内の第7期の4段階の保険料率を「0.8」に訂正する。第7期の国平均については、現時点で取りまとめが行われていない。
課長	資料 No.1 介護保険料比較表内の第7期の1段階の保険料率が「0.45」と示してあるが、低所得者保険料軽減措置の予算を国が確保しているため、第6期と同じ「0.4」になる可能性があることを説明する。
議長	ニュースで大阪府の年間保険料は95,000円、熊本県の年間保険料は80,000円ぐらいと報道されていた。
課長	大口町は愛知県内で1、2番に安い金額なのでご理解いただきたい。
事務局	(2)大口町高齢者福祉事業について(当日配布介護保険ガイドブック) 第7期介護保険計画の内容が盛り込まれたガイドブックを作成した。大口町の高齢者福祉制度も含めたガイドブックである。加えて地域包括ケアシステム、介護認定後の手続き、介護保険料の部分を実施させた。
学識経験者	ガイドブックはどこで配布するのか。
事務局	健康生きがい課窓口、地域包括支援センター窓口、65歳到達者、その他訪問時等に配布する。
事務局	(3)大口町地域包括支援センター運営方針、事業計画について(当日配布資料含む資料 No.3) 大口町地域包括支援センターへ業務委託するにあたる運営方針を作成した。
地域包括支援センター	大口町が作成した運営方針を基に事業計画書を作成した。
事務局	(4)その他 大口町認知症総合支援事業(認知症初期集中支援チーム)について(認知症ケアパス含む資料 No.4)
学識経験者	国からは「認知症初期集中支援チーム」の設置とあるが、なぜ「認知症支援チーム」という名称にしたのか。

事務局	住民視点で考えると、「初期集中支援」と言われても認知症の何を指すのか分かりにくい。認知症の相談や支援を受けられる機関として分かりやすい名称にするために「認知症支援チーム」とした。
学識経験者	説明の中で、「6ヶ月間の支援を行う」とあったが、認知症支援チームの支援を受けた6ヶ月以降はどうなるのか。
事務局	認知症支援チームの対象者として動き始めて6ヶ月以内に、医療や介護に繋ぐ。6ヶ月以降は経過を見守る形になる。
議長	全体を通して質問はあるか。議長の職を解く。
課長	平成29年度は介護保険計画策定の年であり、例年より会議の回数が増えた。委員の皆さまの協力のもと第7期介護保険計画を策定することができたことに感謝する。平成30年度内の高齢者サービス調整会議は3回を予定している。第1回は、6月頃に開催予定で、後日事務局より案内させていただく。 閉会のあいさつ
	(閉会 午後2時40分)